[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	環境衛生美化	推進事業			事業期間	昭和	61年度 ~	— 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-1	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	空き地などの管理	単が適正に実施さ	れることにより、:	地域の生活環境だ	- が快適に保全される	ことを目的と	する。	手段 (どのような方法で 実現するのか)	管理不良状態でな	ある空き地の土地	所有者に対し、期	限を定めて雑草等	手を除去するよう	前告する。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市民及び市内土地	也の所有者。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の環境に対す地域の環境を衛生	する美化意識の高 生的に保全する。	揚が図られ、清潔	『で快適な生活環境	竟を形成する。	
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和61年4月。	より施行した砂川市	5空き地管理指導	享の網に基づき指導	を行っており、	、町内会に対する	調査依頼、市民の通	報などに基づく愉	青報提供を受けて	現地調査を行い、	実態把握を行って	こいる。	

[DO]

実績

					第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地	方 債					0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
れ	— ş	段 財源	計画額	37, 000	37, 000		111, 000	110, 000	,	110, 000		110, 000	110, 000	110, 000	110, 000	440, 000	881, 000
た			予算計上額	110, 000	110, 000		330, 000	110, 000	,		220, 000					0	550, 000
12			実績額	82, 996	106, 320		295, 653	97, 608			97, 608					0	393, 261
事	事業	養合計		37, 000	37, 000	37, 000	111, 000	110, 000	111,111	110, 000	330, 000	110, 000	110, 000	110, 000	110, 000	440, 000	881, 000
			予算計上額	110, 000	110, 000	110, 000	330, 000	110, 000	110, 000	0	220, 000	0	0	0	0	0	550, 000
業			実 績 額	82, 996	106, 320	106, 337	295, 653	97, 608	0	0	97, 608	0	0	0	0	0	393, 261
費の推	事業	費予算の 内容		消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費印刷製本費		消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費								
移	0	度予算と D比較 減理由)		前年同額	前年同額	前年同額		増減なし	増減なし								
	実績(増	との比較 減理由)		執行滅による	執行滅による	執行滅による		執行滅による									

活動指標 1 (「手段」をもとに設定) 指標名:管理不良な空き地の勧告件数 指標の求め方:管理不良な空き地の所有者に雑草の処理を勧告した件数	
指数相様 (「子校」をもこに改走) 指様有・音座小校な主さ地の制有片数 指様の木のガ・音座小校な主さ地の制有有に粒早の処理を勧うした計数	
成果指標1(「成果」をもとに設定) 指標名:勧告に対する雑草処理の割合 指標の求め方:勧告した件数に対し、雑草が処理された件数の割合	
第 1 次実施 3 力年計画 第 2 次実施 3 力年計画 第 3 次実施 4 力年計画 第 3 次実施 4 力年計画	7 期
第1年次 第2年次 第3年次 実施3カ年 第4年次 第5年次 第6年次 第6年次 第7年次 第7年次 第8年次 第9年次 第10年次 実施4カ年 総	合計画
(3年度) (4年度) (5年度) 合 計 (6年度) (7年度) (8年度) 合 計 (9年度) (10年度) (11年度) 合 計 ^台	計

			第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次	第6年次(8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総 合 計 画 合 計
	41-	活動指標 1 計画値 (単位/件) 実績値	<u>i</u> 30	30	30)	30		30		30		30			
	指標	成果指標 1 計画値	i 62	64	66		68		72		74	76	78	80		
		(単位/%) 実績値 事業の達成度		75	67	達成されている	53									
		(活動指標をもとに評価) 事業の成果)													
		(成果指標をもとに評価) 事業の効率性)			少し上がっている										
		(事業費に対する成果) 総合評価				変わらない										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判践理由または指権	た空等等では、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	た査の管地し頼し施のを後有を等調での管地し頼し施のを後有の管地し頼したの書頭であります。 大田 一郎	た査の管地し頼し施のを後有を変し、これでは、大変では、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変をは、大変を	判断用では、 判断用では、 明本では、 は、 は、 は、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	た空き地管理調 査等を基に現地 の調査を行い、 管理不良の空き 地の所有者に対	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向性				現状のまま継続										
	改善、	生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	市内の環境美化	や各町内会と連携 に一定の成果をあ ると判断される。			R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	衛生組合支援	事業			事業期間	昭和	33年度 ~ -	- 年度				•		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-2-1	他に関連する 基本事業	6-1-1					所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	62町内会の衛生 につながる。	上支部長で構成さ	れる砂川市衛生組合	合を支援するこ	- とで、行政と市民の	協働が図られ	、地域の環境美化	手段 (どのような方法で 実現するのか)	河川清掃、道路清	青掃などのボラン	ティア活動を支援	きする。		
対象 (誰・何を対象として いるのか)	砂川市衛生組合	(62町内会の衛	生支部長で構成)。					成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の自主活動に	こより地域の環境	美化が向上する。			
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	町内会衛生組織の	の実践活動を推進し	ている砂川市復	新生組合に対して、	運営費の一部	を補助している。							

[DO]

実績

_	-										1			_		(#12:11)
					3 力年計画			第2次実施					3次実施4カ年計			第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費 計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道	費 計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地方(0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
入	そのも					0				0					0	0
ŧ		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
れ	一般財法		337, 000			1, 011, 000	383, 000	,	383, 000		383, 000	383, 000	383, 000	383, 000	1, 532, 000	3, 692, 000
+.		予算計上額	337, 000	337, 000		1, 042, 000	383, 000	,		799, 000					0	1, 841, 000
た		実 績 額	337, 000	337, 000		1, 042, 000	382, 375			382, 375					0	1, 424, 375
事	事業費合		337, 000	337, 000		1, 011, 000		555, 555	383, 000	1, 149, 000	383, 000	383, 000	383, 000	383, 000	1, 532, 000	3, 692, 000
****		予算計上額	337, 000	337, 000	368, 000	1, 042, 000		416, 000	0	799, 000	0	0	0	0	0	1, 841, 000
業		実 績 額	337, 000	337, 000	,	1, 042, 000		0	0	382, 375	0	0	0	0	0	1, 424, 375
費			衛生組合補助金	衛生組合補助金 パンケ歌志内川	衛生組合補助金			衛生組合補助金 パンケ歌志内川								
	事業費予算の				清掃委託料			清掃委託料								
の	内容															
推																
7胜			前年同額	前年同額	パンケ歌志内川		パンケ勁主内川	パンケ歌志内川								
移	☆ケヰマ笠		的午问版	的牛門飯	清掃委託料の増			清掃委託料の増								
	前年度予算。 の比較	٤														
	(増減理由))														
			同額	同額	同額		見積合わせによ									
	実績との比	診					る減									
	(増減理由)															
					ı		II			l l						

		をもとに設定)	指標名:衛生組行			指標の求め方: 行		の回数								
果指標	1 (「成果」	をもとに設定)	指標名:美化活	動参加者数		指標の求め方:	美化活動延人数									
					13 力年計画				3 力年計画	II			3次実施4カ年記			第 7
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合言合
41-	活動指標(単位/[4	4	4		4	4	4		4	4	4	4		
指標	成果指標	人根區	220	220	230		230	240	240		250	250	260	260		
	(単位/		194				255	. L								
	事業の達 (活動指	を 標をもとに評価)				達成されている										
	事業の成 (成果指	t果 標をもとに評価)				少し上がっている										
	事業の効	加率性 に対する成果)				変わらない										
	総合評価	<u> </u>				良好である										
評価内容		理由または指標	の囲が施業衛種の活活るご会ナットの田が施業衛種の活活るご会ナットの田がたれた町部かが環な春地が小球で、一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一	の囲づ施業衛種の活活るウにくが加水では、大い大学を持ていたには、大い大い大いは、大い大い大いは、大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い大い	の囲が施業衛種の活活る拾でに事内いたれた町部かの環な秋北グ中等計事業。内長らあ境っ季光明に大れた町部かが環な秋北グ中に生団体発動がいいのよる状況がある。	判砂は掃心組多う施境責らた野川、美を織くンし美献良。出生物が出世の子、化が好地での子、化が好いであまり来ア内多る判断が出生のでの大きでの大事断が出生のの大きでの大事断が出生がある。	の事件では 事業で計画が 第一次に		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	今後の方	5向性	担っている組織で	は市民が自主的に であり、実施して から補助金交付の	いる事業は市内の)環境美化に多大	R8 :				R10 :					
改善	性の判断5 、改革のF 、R8、R10	内容	砂川市衛生組合に担っている組織	であり、実施して	いる事業は市内の)環境美化に多大	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	不法投棄防止	対策事業			事業期間	平成	13年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-2-1	他に関連する 基本事業	2-1-1					所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	不法投棄の抑制に	はもとより、不法	に投棄された家電	等を回収し、環	・ 境美化につなげる。			手段 (どのような方法で 実現するのか)	不法投棄抑制の <i>†</i> また、回収したる	ための啓発活動の 不法投棄家電等の	実施、監視カメラ 適正処分を行う。	。 を設置し警察と <i>0</i>	D連携強化を図る。	
対象 (誰・何を対象として いるのか)	不法投棄排出者及	なび不法投棄物。						成果 (どのような効果が 得られるのか)	不法投棄の減少、	環境美化。				
事業開始時の状況 緯		(旧不法投棄家電 資源の有効活用で		3年4月から家電	電リサイクル法が施	行されたが、	日常生活の中で排出	される廃棄物の不	法投棄が後を絶た	こない状況となっ	てきた。			

[DO]

実績

						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	-画		第 7 期
					第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費		画額				0				0					0	0
				算計上額				0				0					0	0
				績 額				0				0					0	0
	道	費		画額				0				0					0	0
				算計上額				0				0					0	0
	14	~		積額				0				0					0	0
		方 債		画額				0				0					0	0
投				算計上額				0				0					0	0
入	7	0 11		. 績額 · 画額				0				0					0	0
	そ	の 他						0				0					0	0
さ				算計上額				0				0					0	0
	Ь.	般 財 源		. 績額 · 画額	1, 153, 000	1 150 000	1 147 000	0 450 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1 004 000	3, 912, 000	1 004 000	1 004 000	1 004 000	1 004 000	5 010 000	12, 578, 000
れ	- ;	15 以 冰		当 · 類 · 算計上額	1, 153, 000	1, 150, 000 1, 160, 000	1, 147, 000 1, 370, 000	3, 450, 000 3, 683, 000	1, 304, 000		1, 304, 000	2, 725, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	5, 216, 000	6, 408, 000
た				算 計 上 額 :	974, 709	1, 160, 000	1, 370, 000	3, 883, 000	1, 326, 000	1, 399, 000		1, 058, 365					0	4, 450, 012
		養合計		・ 画 額	1, 153, 000	1, 150, 074	1, 260, 864	3, 391, 647	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	3, 912, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	5, 216, 000	12, 578, 000
事	争 未	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		·算計上額	1, 153, 000	1, 160, 000	1, 147, 000	3, 450, 000	1, 326, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	2, 725, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	1, 304, 000	5, 216, 000	6, 408, 000
業				身 前 上 領 ・ 績 額	974, 709	1, 156, 000	1, 260, 864	3, 391, 647	1, 058, 365	1, 399, 000	0	1, 058, 365	0	0	0	0	0	4, 450, 012
_					環境業務員報酬		環境業務員報酬		, ,	環境業務員報酬	U	1, 056, 305	0	0	0	U	0	4, 450, 012
費					期末手当	期末手当	期末手当		期末勤勉手当	期末勤勉手当								
o o		費予算の	ס			費用弁償	費用弁償		費用弁償	費用弁償								
0)		内容			不法投棄物処理 手数料	个法授業物処埋 手数料	不法投業物処埋 手数料		不法投業物処理 手数料	不法投棄物処理 手数料								
推					3 32.14	3 30.17	3 30.14		3 9244	3 9017								
TA					環境業務員に関					環境業務員に関								
移	前年	度予算と	<u>-</u>		する経費の増額	単価の増	する経費の増額		手数料の精査に よる減	する経費の増額								
		の比較							よる原									
	(増	減理由)																
					理技术农品《本	四	7 14 10 24 A #		74U.540#									
					環境業務員の変 更に伴う報酬額 の減、不法投棄	境現業務員の変 更に伴う報酬額	个法授業物の業 者引き渡しが予		不法投棄物の業 者引き渡しが予									
		との比較	交		の減、不法投棄	の減	定数より少な		定数より少な									
	(増	減理由)			物の業者引き渡し実績なしによ		かったことによ		かったことによ る減額									
					し 美額 ひしによ		る減額		つ減額									

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:巡回パトロール実施日数	指標の求め方:対	巡回パトロールを実施した日数		
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:不法投棄物回収量	指標の求め方:	下法投棄物を回収した量		
	第1次実施3カ年計画		第2次実施3カ年計画	第3次実施4カ年計画	第 7 期

					第1次実施	[3カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4力年計	画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年 合 計	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年 合 計	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年 合 計	総合計画合計
		活動指標 1	計画値	(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)		(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)		п п
	指	(単位/日)		140	140	140		140	140	140		140	140	140	140		
	標	成果指標 1		4, 000	3, 900	3, 800		3, 700	3, 600	3, 500		3, 400	3, 300	3, 200	3, 100		
		(単位/kg)	人根に	1, 270	2, 660	1, 250		1, 120									
			をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標	l をもとに評価)				少し上がっている										
		事業の効率	⊠性 対する成果)				変わらない										
		総合評価					普通である										
事務事業評価	評価内容	理の		法投票禁止の効果禁止の効果禁止の効果をでは、 変にできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	法投票禁止の効果禁止の効果禁止の効果をでは、 変にできる。 変にできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	法板のない。 接ている。 を発言している。 をいるは、対している。 は、できないでである。 は、できないでである。 は、できないでである。 は、できないでである。 は、できないでである。	判不収正る判電滅もこ思引必野法及に事断のはて満分のは、地域の対象との対象と、が明確のは、対象を対して、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	法板的ロース ・ 大阪のなーの効ト施行薬化の ・ 大阪のなーのの対ト施行薬化の ・ 大阪のでのでいたがある。 ・ 大阪のででいたのででいたのででいたのででいたがある。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由::	
			14														
		今後の方向	可性	DC			現状のまま継続	DO				D10					
	方向 ^性 改善、 (R5、	生の判断理: 改革の内3 R8、R10)	由容		fや数について検	であることから、 計を続けて行い、 要である。		R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	墓地維持管理	事業			事業期間	昭和	47年度 ~ _	- 年度					•	<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-2-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施する のか)	墓地を適正に管理	里し、利用しやす!	い環境づくりを行	う。					通路や側溝の補値 りを行う。	修、樹木選定など	墓地内の環境整備	情を図るとともに、	返還区画等の整理	里を進め、利用しやすい環境づく
対象 (誰・何を対象として いるのか)	墓地区画利用者							成果 (どのような効果が 得られるのか)	新規使用許可区區	画数の増加				
事業開始時の状況緯		砂川市の墓地にて 行っている。	ついては北吉野墓地	他の区画整備を限	恵時行い、5,025区値	·	.500体収容) 1 基の	規模となっており	、周辺設備につい	ハては区画整備工	事に伴って新設し	ている。維持管理		育理委託でシルバー人材センターが

[DO]

実績

					第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画		第 3 次実施 4 力年計画					
				第 1 年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地 方	債	計画額				0				0					0	0
投			予算計上額				0				0					0	0
_			実績額				0				0					0	0
入	その	他	計画額				0				0					0	0
さ			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
れ	一般販	才 源	計画額	2, 864, 000	4, 867, 000		10, 595, 000	3, 388, 000	5, 388, 000	5, 388, 000		5, 388, 000	5, 388, 000	5, 388, 000	5, 388, 000	21, 552, 000	46, 311, 000
た			予算計上額	2, 864, 000	3, 007, 000		9, 042, 000	3, 438, 000	3, 748, 000		7, 186, 000					0	16, 228, 000
12			実績額	2, 626, 604	2, 985, 277		8, 595, 679	3, 011, 161			3, 011, 161					0	11, 606, 840
事	事業費1	合計	計画額	2, 864, 000	4, 867, 000	2, 864, 000	10, 595, 000		5, 388, 000	5, 388, 000	14, 164, 000	5, 388, 000	5, 388, 000	5, 388, 000	5, 388, 000	21, 552, 000	46, 311, 000
			予算計上額	2, 864, 000	3, 007, 000	3, 171, 000	9, 042, 000	3, 438, 000	3, 748, 000	0	7, 186, 000	0	0	0	0	0	16, 228, 000
業			実績額	2, 626, 604	2, 985, 277	, ,	8, 595, 679	3, 011, 161		0	3, 011, 161	0	0	0	0	0	11, 606, 840
費の推	事業費予 内容			需用費 通信運搬費 清掃管理委託料		墓地清掃謝礼 需用費 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料		需用費(修繕料 含む) 通信運搬費 清掃管理委託料	墓地清掃謝礼 需用費(修繕料 含む) 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料								
移	前年度予 の比車 (増減理	交			管理委託料の増 額 器具借上料の増 額	費・管理委託		需用費・光熱水費・管理委託 料・ 器具借上料の増額	額 器具借上料の増								
	実績との (増減理	比較由)		清掃管理委託料 の作業数減によ る減	清掃管理委託料 の作業数減によ る減			清掃管理委託料 の作業数減によ る減									

ŧ	標の	隹移	• 評価																	
7	5動指	票 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:合同墓	年間収容数		指標の求め方:台	合同墓へ埋葬した	収容数										
J.	 大果指标	票 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:墓地区區	画使用許可率		指標の求め方:墓	遠地における区画	使用を許可した割	合									
						第1次実施	3 力年計画			第2次実施	3 力年計画			第 3 次実施 4 力年計画						
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計			
	ŧ	旨	舌動指標 1 (単位/体)	計画値 実績値	50 47	.4			50 148	L	50		50	50	50	50				
	柞	,	成果指標 1	計画値	89. 2				89. 5	89. 6	89. 7		89. 9	90. 0	90. 2	90. 3				
	-	_	(単位/%) 事業の達成度	実績値	89. 5	89. 7	89. 7		89. 7											
		(事業の達成度 活動指標をも 事業の成果	とに評価)				達成されている												
		L	成果指標をも	とに評価)				変わらない												
		_	事業の効率性 事業費に対す	る成果)				変わらない												
		á	総合評価		+ = v Is	N.G	4 = 0.15	良好である	+ = 0.15	4 = 0.15	4 7 0 15	ded bleck TOT also	+ = 0 Is	4 7 0 K	4 7 0 15	0 K	alout blest with			
	事務事業評価	哲 勺	理由記	平価の判断 または指標 責値に関す	はく施な支つの人行利い備でないない。ないでは、からないでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるのは、いるのは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるで	はく施な支つ管行排面を行った。 まっぱく施な支の管行排面を行ったいる軽値に要するといるをはいて表すでは、いる路体であれている路体をといくないでは、いる路体を必要がある。易やに掃で、法なのでは、はないのではないのでは、はないのではないのでは、はないのではない。はないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないので	はく施な支つ管行排面になった法のでは、法のでは、大きなを関係して、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるないのでは、いるなどでは、いるなどでは、いるなどでは、いるなどでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		は予定よりも多 くなっている。	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:			
		-	 今後の方向性					現状のまま継続												
			7 12 27 77 1-1 IT		R5 :				R8 :			<u> </u>	R10 :				<u> </u>			
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		空き区画に繁茂 例が散見されてし ことが必要である	した樹木が、使用 いることから、剪 る。	に支障をきたす状 定や伐採などを行	態になっている い対策していく														

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 ×

事 業 名	公害防止対策	事業			事業期間	_	年度 ~ —	年度					1		
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-2-3	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課生活交通係	
目的 (何のために実施するのか)	公害防止のため、 る。	市内の河川の水	質、自動車による	騒音・交通量を	- 調査分析し、快適な	環境下での市	民生活の向上を図	手段 (どのような方法で 実現するのか)	市内における河川水、自動車騒音について、調査・分析の委託(河川水〜年1回、自動車騒音〜年1回)。 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく規制地域の指定(変更)事務。 法令の定めによる各種届出書の受理。公書に関する苦情の解決。						
対象 (誰・何を対象として いるのか)	市内の河川及び道	道路(国道、道道))、市内事業者及	び市民				成果 (どのような効果が 得られるのか)	河川の水質や自動車騒音が環境基準と比較してどのような状況にあるかを把握し、公害関係法令の遵守による環境の保全や、公害に関する苦情を解決することにより、快適な環境下での市民生活の向上が図られる。						
事業開始時の状況・これまでの経 環境保全に関する調査を実施し、情報の管理及び提供が必要である。河川水の水質、自動車騒音の調査分析を実施している。 行政改革では、平成17年度より水質調査箇所数の削減、自動車騒音調査を2日から1日に削減、隔年で実施していた大気汚染調査を廃止、さらに、平成20年度から委託料を5%削減している。															

[DO]

実績

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 力年計画		第 3 次実施 4 カ年計画						
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次(8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計	
	国	費	計画額	(0十反)	(寸十/文/	(0十度)	0	(0 1 /2/	(7年/支)	(0千段)	0	(3年度)	(10千戌)	(11千/文)	(12十/文)	0	0	
		^	予算計上額				0				0					0	0	
			実績額				0				0					0	0	
	道	背	計画額				0				0					0	0	
	-		予算計上額				0				0					0	0	
			実績額				0				0					0	0	
	地	方 債	計画額				0				0					0	0	
投			予算計上額				0				0					0	0	
,_			実 績 額				0				0					0	0	
入	そ	の他	計画額				0				0					0	0	
خ			予算計上額				0				0					0	0	
_			実 績 額				0				0					0	0	
れ	-	般 財源	計画額	995, 000	995, 000	995, 000	2, 985, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	3, 948, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	5, 264, 000	12, 197, 000	
			予算計上額	995, 000	995, 000	995, 000	2, 985, 000	1, 316, 000	1, 595, 000		2, 911, 000					0	5, 896, 000	
<i>t</i> =			実 績 額	651, 200	816, 200	849, 200	2, 316, 600	893, 200			893, 200					0	3, 209, 800	
事	事第	美費 合計		995, 000	995, 000		2, 985, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	3, 948, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	1, 316, 000	5, 264, 000	12, 197, 000	
			予算計上額	995, 000		995, 000	2, 985, 000	1, 316, 000	1, 595, 000	0	2, 911, 000	0	0	0	0	0	5, 896, 000	
業			実 績 額	651, 200		849, 200	2, 316, 600	893, 200	0	0	893, 200	0	0	0	0	0	3, 209, 800	
費				13箇所水質調査 143,000円	13箇所水質調査 143,000円	13箇所水質調査 143,000円		13箇所水質調査 143,000円	13箇所水質調査 187,000円									
		費予算の				自動車騒音常時			自動車騒音常時									
0		内容		監視事業	監視事業	監視事業		監視事業	監視事業									
推				852,000円	852,000円	852,000円		1, 173, 000円	1,408,000円									
711				前年度同額	前年度同額	前年度同額		白動車騒音堂時	水質調査、自動									
移	前在	度予算と		10.1—12.1—10.10K	10 T/X 1-1 DX	が十八人に		監視事業委託料	車騒音常時監視									
		の比較						の増。	事業委託料の									
	(増	減理由)							增。									
					主に自動車騒音			主に自動車騒音										
		との比較	:	吊時監視事業の 入札減。	常時監視事業の 入札減。	常時監視事業の 入札減。		常時監視事業の 入札減。										
	(堆	減理由)		3月補正	3月補正	3月補正		3月補正										
				△343千円	△178千円	△145千円		△422千円										

ŧ	標の	推移	• 評価															
37	動指	標 1	(「手段」をもと	に設定)	指標名:公害調	查 箇所数		指標の求め方:訓	間査箇所数									
J.	大果指	標 1	(「成果」をもと	に設定)	指標名:生活公	害に関する苦情		指標の求め方:き	吉情件数									
						第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3 力年計画			第	3次実施4カ年記	計画		第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年合計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施3カ年合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	総合計画合計	
			舌動指標 1 (単位/箇所)	計画値	17				17	17	17		17	17	17	17		
	:	LATE	文字位/图/// 文果指標 1	実績値 計画値	17	17	0		(0	0		0	0	0) 0		
	_		(単位/件)	実績値	2	2 3	0		1									
			事業の達成度 活動指標をも	とに評価)				達成されている										
			事業の成果 成果指標をも	とに評価)				あまり上がってい ない										
		lull.	事業の効率性					変わらない										
		-	事業費に対す 総合評価	る成果)				普通である										
		Ŧ			自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
					監視について、	監視について、	監視について、	事業の成果は自動車騒音の状況	監視について、									
					問でけ環境其準	晋培其準値を超	問でけ環境其準	から上記のとおり評価したが、	間でけ環培其準									
					値を超えておらず、快適な生活	たが、公安委員	値を超えておらず、快適な生活	自動車騒音は要請限度を超えて	値を超えておらず、快適な生活									
	事				ている。	会に対応を要請 する要請限度を	ている。	た、他の指標は	環境が維持されている。									
		評価内容			今後も自動車騒 音の状況を把握	い。	音の状況を把握	計画値を満たし ていることか	音の状況を把握									
	務					今後も自動車騒 音の状況を把握		ら、総合的には 「普通である」	警察署などとも									
	事	T I	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す	連携し啓発活動 に努めていきた	するとともに、 警察署などとも	連携し啓発活動 に努めていきた	と判断した。	連携し啓発活動 に努めていきた										
			の実績る自己	の実績値に関す る自己分析	ر، د	に劣めているに	い。		い。									
	業					い。												
	評																	
	価																	
		4	今後の方向性					現状のまま継続										
					R5: 事業の実施方法(には改善の余地が	・ ないと考えられる	ため、今後の方	R8 :			•	R10 :					
					向性は「現状の	まま継続」と判断 心に環境基準値を	した。自動車騒音	常時監視におい										
					て、道路の改良:	エ事が行われて騒 ードダウンなどを	音が軽減されてい	ると考えられる										
			の判断理由		きたい。	1777466		**************************************										
	라	香、 (R5、	改革の内容 R8、R10)															